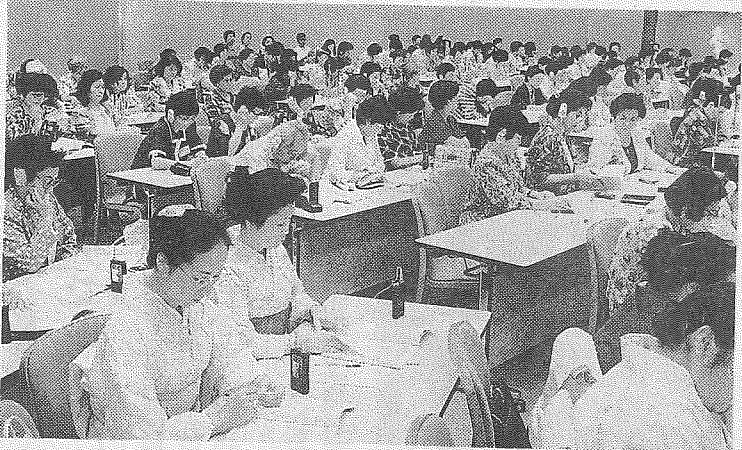


米・韓・デンマークからも参加

冊封使の服飾など論議

国際服飾学術会議開く

国際服飾学術会議が二十
九日から三日間の日程で、
宜野湾市の沖縄コンベンシ
ョンセンター会議棟で始ま



冊封使の服飾などについてのシンポジウムも行われた国際服飾学術会議

った。同会議は各国の服飾文化の状況を把握し、世界的視野に立つて研究を進展させようとの狙いで開かれており、今回が十六回目。沖縄大会には国内のほか韓国、台湾、米国、デンマークから合わせて約二百人が参加した。

初日は午前十時に開会、同学会の丹野郁会長が「来世紀へ向け、無限の可能性が感じられる沖縄で学術会議が開かれるのは極めて意義深い」とあいさつ。引き続き「琉球服飾史の問題」―1600年から今日にいたるデンマークの王家のファッション―と題した講演が行われた。また明や清時代の冊封使の服飾についてのシンポジウムには台湾と韓国の研究

ン
シ
タ
ン
セ

国からは劉頌玉氏(韓国服飾学会長)が説明。朝鮮王朝ができたころ、隣国の中国・明から制度的なことを模倣したが、主権国の考えが強く服飾などについてはそれほど影響は受けていない」と話し、琉球との違いを指摘した。

授業にマルチメディア活用

通信制大学院構想
文相の諮問機関、大学審議会(会長・石川忠雄慶応大名誉教授)の専門部会は新たに設置を提言している。通信制大学院構想の骨格をまとめた素案を二十九日開かれた総会に提出した。素案は①マルチメディア

を活用した授業を認める②導入は当面修士課程に限る③面接授業による単位取得を義務付けないなどが柱となっている。マルチメディアを使った授業については大学でも導入を推進し、一定の単位を認める方針。通信制大学院では自宅や職場にいながら授業を受けられることになり、社会人の再教育機関の場として期待されそうだ。同部会では素案を基に今秋に「中間まとめ」を総会に提出する。

素案は、まず職場や自宅から通学可能な範囲に大学院がないといった地理的、時間的な制約で大学院レベルの研究をあきらめている社会人が多いことなどを理由に、通信制大学院の設置

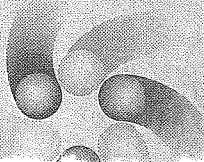
健康づくり呼びかけ

県環境保健部がガイド発刊

バランスの取れた食事や運動、休養という健康づくりの三本柱だけでなく、飲酒、喫煙、歯科衛生まで含めた「生活習慣」から疾病予防を考えてもらおう、と県環境保健部は一般県民向けの「健康づくり実践ガイド

イラストや写真を使って分かりやすくアドバイス。生活習慣病(成人病)予防の在り方、具体的な方法を説いている。A4判の頁。三千部を保健所や市町村、図書館など公的機関に配布。県栄養士会が二千部を

健康づくり実践ガイド



部が九五年度にまとめた「県民の健康づくり指針」の実践編。同部の平良健康部長は